

# 茨城県会瀬海岸でみられた 3年間の海浜地形変動とその要因

SATテクノロジー・ショーケース2019

## はじめに

近年、茨城県北部の沿岸地域で海岸侵食が発生しているとの報告がある(宇多ほか, 2008)(図1)。私たちは、茨城県北部の本校近くの日立市会瀬海岸を調査対象地として選んだ。本研究は、近年の会瀬海岸における地形変動の状況把握と、その地形変動要因を考察することを目的とする。また、地形変動の要因について、海岸流、波高、台風の観点から考察を試みた。

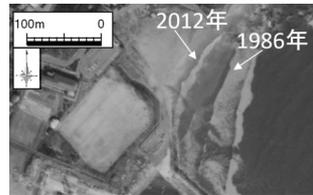


図1 会瀬海岸の変遷

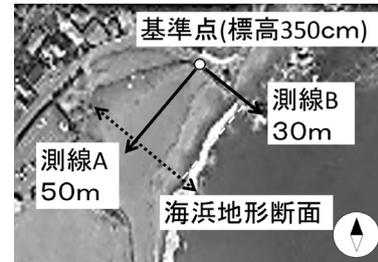


図4 測量範囲

## 活動内容

### 1. 調査地域の概要

会瀬海岸は、日立駅の南約1kmにあり、会瀬漁港の北側に位置する幅100m弱の太平洋に面した砂浜海岸である(図2)。砂浜は、主に粗粒砂～中粒砂で構成されており(図3)、2015年12月に堤防嵩上げ工事による土砂の搬入が行われた。また、この海域は、親潮と黒潮の混合域である。

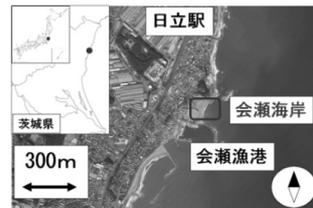


図2 調査地点の周辺図

